

令和 5 年度 シラバス

3 年Ⅱ型

教科	国語	科目	現代文B		講座	3年Ⅱ型	種別	必修
単位数	2	教科書	新 精選現代文B(明治書院)					
副教材	新訂国語図説、国語辞典(電子辞書可)							
授業形態	講義、グループ活動、発表など							
科目の目標	近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。							
身に付けてほしい学力	1 文章を論理的に読解し、的確に理解する力。 2 自分の意見を筋道立てて述べる力。他者の意見を聞き、それをふまえてさらに自分の意見を深め、表現できる力。 3 作品に表れたものの見方、感じ方、考え方を理解し、そこからさらに自己のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする力。							
学習計画	単元			学習のあらまし				
	【1学期】 評論(1)「異文化理解」 小説(1)「檸檬」 評論(2)「名づけ」の精神史 評論(3)「群衆の顔」 【2学期】 小説(2)「舞姫」 評論(4)「猫は後悔するか」 評論(5)「〈読み〉の楽しみ」 問題演習 【3学期】 問題演習			・論の展開、論拠、要旨を的確に捉える。 ・登場人物の人物像や心情の推移を的確に読み取る。 ・論の展開、論拠、要旨を的確に捉えるとともに、筆者の意見に対する自らの考えを述べる。 ・作者の作風の特徴をつかみ、小説の展開を丁寧に追って作品の主題に迫る。 ・論の展開、論拠、要旨を的確に捉えるとともに、筆者の意見に対する自らの考えを述べる。 ・入試問題演習を行う。 ・入試問題演習を行う。				
評価の観点・ 評価方法	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解			
	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴や決まりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。			
	上記の観点を踏まえ、①定期考査 ②提出物 ③授業に取り組む姿勢を総合的に判断して評価する。							
学習のアドバイス	1 休まず授業に出席しよう。 2 予習や課題にしっかり取り組もう。 3 日頃からノートの整理をしっかりと行おう。学期末にはノート提出があります。 4 授業中は積極的に自分の意見を発言しよう。また、他の人の意見にもきちんと耳を傾け、そこから自分の考えをさらに深めてみよう。							
その他	大学入試に対応できる知識・理解を身に付けることを目標として授業を進める。							

教科	国語	科目	古典A		講座	3年Ⅱ型	種別	選択
単位数	3	教科書	古典文学選 古典A(教育出版)					
副教材	体系古典文法、必携新明説漢文、新訂国語図説、古語辞典・漢和辞典(電子辞書可)							
授業形態	講義、グループ学習、発表など							
科目の目標	古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。							
身に付けてほしい学力	1 古典における基礎的知識と内容を的確に読み取る力。 2 古典作品に表れた古人のものの見方、感じ方、考え方を理解し、そこからさらに自己のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする力。							
学習計画	単元			学習のあらまし				
	【1学期】 歌物語 伊勢物語 大和物語			・ 作中の和歌を修辞技巧に留意して、話の展開に沿って解釈する。 ・ 各章段を、話の展開と登場人物の心情に注意して読み取り、歌の鑑賞に結びつける。				
	逸話 史記 十八史略			・ 漢文に用いられる語句の意味、用法を理解し、項羽と劉邦を中心とした登場人物の描写を味わう。				
	和歌 和歌の諸相			・ 短詩形の中に詠まれた情景や心情を読み取り、鑑賞する。				
	【2学期】 軍記物語 平家物語			・ 戦乱の世に生きた人々の心情を読み取る。 ・ 行動の背景となる武士の生き方について考える。				
	詩文 竹里館 秋浦歌 楓橋夜泊 桃花源記			・ 音読を通して詩のリズム感を味わい、表現上の技巧を確かめる。				
	随筆 方丈記			・ 無常観について理解する。 ・ 音読や暗唱を通して、簡潔で凝縮された表現の美しさを味わう。				
	歴史物語 大鏡			・ 場面状況と登場人物の行動や心情を把握し、話の展開を理解する。				
	三国志 関羽と張飛 赤壁の戦い			・ 作品の時代背景を押さえ、作者の思想や人生観を理解し、自身のものの見方、感じ方、考え方を深める。				
	【3学期】 評論 無名草子 無名抄			・ 評論を読み、古典文学の根底にある発想を知り、わが国の伝統と文化について理解を深める。				
評価の観点・ 評価方法	関心・意欲・態度			読む能力		知識・理解		
	古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。			古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考えを深め、発展させている。		伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身に付けている。		
	上記の観点を踏まえ、①定期考査 ②提出物 ③小テスト ④授業に取り組む姿勢 を総合的に判断して評価する。							
学習の アドバイス	1 休まず授業に出席しよう。 2 予習・復習や課題にしっかり取り組もう。決して最初から答えを写さないこと。 3 授業中は積極的に自分の意見を発言しよう。また、他の人の意見にもきちんと耳を傾け、そこから自分の考えをさらに深めてみよう。							
その他	大学入学共通テストに対応できる知識・理解を身に付けることを目標として授業を進める。							

教科	国語	科目	古典B	講座	3年Ⅱ型	種別	必修
単位数	3	教科書	新 高等学校 古典B (明治書院)				
副教材	体系古典文法、必携新明説漢文、新訂国語図説、古語辞典・漢和辞典(電子辞書可)						
授業形態	講義、グループ学習、発表など						
科目の目標	古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。						
身に付けてほしい学力	1 古典における基礎的知識と内容を的確に読み取る力。 2 古典作品に表れた古人のものの見方、感じ方、考え方を理解し、そこからさらに自己のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする力。						
学習計画	単元			学習のあらまし			
	【1学期】 歴史物語 大鏡 日記 蜻蛉日記 和泉式部日記 史話・史伝 史記 【2学期】 物語 源氏物語 思想 荀子 老子 莊子 韓非子 評論 問題演習 【3学期】 問題演習			・描かれたエピソードや、登場人物の人間像を読み取るとともに、語り手のスタンスを正しく捉えて鑑賞する。 ・当時の女性の生き方を知るとともに、それぞれの作品に表れたものの見方、感じ方、考え方を参考にして作品を鑑賞する。 ・史記を読解しながら、項羽と劉邦を中心とした多彩な登場人物の描写を味わうとともに、作者司馬遷の人間に対する観察眼、洞察力に触れる。 ・光源氏を取りまく女性たちの物語の読解・鑑賞を通して、時代を超えた人間の真実に触れる。 ・それぞれの思想家のものの見方、考え方を理解するとともに、時代背景への理解を深める。また、それらの思想がわが国の文化や社会に与えた影響についても考える。 ・古典文学の根底にあるものの見方・感じ方・考え方をすることで、わが国の伝統と文化について理解を深める。 ・大学入学共通テストに向けて問題演習に取り組む。 ・大学入学共通テストに向けて問題演習に取り組む。			
評価の観点・評価方法	関心・意欲・態度		読む能力		知識・理解		
	古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。		古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考えを深め、発展させている。		伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身に付けている。		
	上記の観点を踏まえ、①定期考査 ②提出物 ③小テスト ④授業に取り組む姿勢 を総合的に判断して評価する。						
学習のアドバイス	1 休まず授業に出席しよう。 2 予習・復習や課題にしっかり取り組もう。決して最初から答えを写さないこと。 3 授業中は積極的に自分の意見を発言しよう。また、他の人の意見にもきちんと耳を傾け、そこから自分の考えをさらに深めてみよう。						
その他	大学入学共通テストに対応できる知識・理解を身に付けることを目標として授業を進める。						

教科	地理歴史	科目	日本史B	講座	3年Ⅱ型	種別	選択
単位数	2	教科書	最新日本史（明成社）				
副教材	詳説 日本史図録 第9版（山川出版社）						
授業形態	講義、グループ学習、発表など						
科目の目標	我が国の歴史の展開を、世界史的視野に立つて総合的に考察し、我が国の文化と伝統の特色についての認識を深めることによって、歴史的思考力を培い国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人の資質を養う。						
身に付けてほしい学力	1 我が国の歴史に興味を持ち、基本的な知識を習得する。 2 我が国の文化と伝統の特色について認識を深めることで、歴史的思考力を培う。						
学習計画	単元			学習のあらまし			
	【1学期】 1 封建社会の確立 2 幕政の進展と文化の普及 3 封建社会の動揺と文化の爛熟 4 開国と幕末の政局 【2学期】 1 明治維新と近代国家の形成 2 立憲国家の成立 3 近代日本とアジア 4 国際情勢の転換と日本 5 世界の動乱と日本 【3学期】 1 占領統治と日本の独立 2 高度経済成長と日本			・江戸幕府の幕藩体制や法制度確立の過程を理解する。 ・経済・文化の発展を江戸幕府の安定期と関連させて考察させる。 ・開国から明治維新に至るまでの過程を理解する。 ・明治新政府の制度改革や様々な政策に着目して、明治初期の政治的変革と国家的統一過程を考察する。 ・日本の国際的地位の変化と植民地支配の推進を諸外国の動向と関連付けて考察する。 ・戦後の世界秩序を踏まえ、諸改革について、その経過と内容を考察する。			
評価の観点・評価方法	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解			
	歴史に興味や関心を持ち、自ら課題を発見し、話し合いの場面で、仲間の意見に耳を傾けながら、自らの意見を積極的に発表しようとする。	歴史的事象を多面的、多角的に捉え、他の事象との比較や検討をし、関連を考察し、公正に判断してノートや学習プリントなどに記述できる。	必要に応じて多様な情報を活用し、有用な資料を選択・収集ができ、資料の特性を踏まえて、的確に情報を読み取ったり、活用したりすることができる。	歴史的事象を捉える基本的事項に関する知識を十分に持ち、歴史的事象や各時代の特色について理解し、説明することができる。			
	定期考査並びに小テスト及び授業態度、提出物等に基づいて、「関心・意欲・態度」「思考・判断・表現」「資料活用の技能」「知識・理解」の4観点から総合的に評価する。						
学習のアドバイス	1 授業に休まず出席し、活動をする場面では、積極的に参加する。 2 歴史に興味を持ち、基本的な歴史事項を理解し、定着させようとする。						
その他							

教科	地理歴史	科目	地理 B	講座	3 年Ⅱ型	種別	選択
単位数	2	教科書	新詳地理 B（帝国書院）				
副教材	新詳高等地図（帝国書院）、新詳地理資料（帝国書院）						
授業形態	講義 問題演習（応用演習）						
科目の 目標	2 年生での既習事項を基に問題演習を行うことにより、地理的事象について、思考、判断し、その成果を科学的に分析、表現することができる能力を養う。						
身に付けて ほしい学力	1 地理的事象に対し、興味・関心を持ち、探究課題を見つけ、主体的に取り組む姿勢を養う。 2 科学的な視野に立って思考、分析、判断、表現できる資質を身に付ける。						
学習計画	単元			学習のあらまし			
	【1 学期】 1 地理情報と地図 2 地図の活用と地域調査 3 自然環境 4 資源と産業 【2 学期】 1 人口、村落・都市 2 生活文化、民族・宗教 3 現代世界の地域区分 4 現代世界の諸地域① 【3 学期】 1 現代世界の諸地域② 2 現代世界と日本			・地図の活用と地域調査について、地図を活用して多面的・多角的に調査する。 ・産業の発達と変化について、自然環境との関わりやグローバル化の視点から考察する。 ・人口や民族、宗教について、現状と課題を考察する。 ・地誌の考察方法について、多様な方法があることを理解する。 ・世界の諸地域について、形式的な地域区分に基づき、自然、歴史と文化・民族、農業などの多様な事象を項目ごとに整理して、考察する。			
評価の 観点・ 評価方法	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解			
	授業に意欲的に参加し、学習内容に対して地理的な視点をもって関心を持つことができる。	学習内容に対して地理的な視点から科学的に思考、判断、分析し、その成果を表現できる。	必要に応じて、地図帳、資料集を活用して、課題を解決できる。 提示された資料から様々な情報を読み取れる。	地理的な視点に立って、習得した知識を活用して、提示された課題や自ら発見した課題を解決することができる。			
	・授業中の態度、発言、提出物、課題への取り組みと、定期考査により、総合的に評価を行う。						
学習の アドバイス	・しっかりと教科書、資料集をよく読み、重要だと思った事項にマーカーで目印を付ける。 ・教科書をベースに自らノートを作成し、板書事項や自分が調べたことを書き加えて、自分だけのノートづくりに取り組む。 ・問題演習に取り組むことにより、思考力や判断力を養う。 ・重要事項や基本的用語を自らの言葉で表現できる練習をする。						
その他	特になし						

教科	地理歴史	科目	地理歴史探究	講座	3年Ⅱ型	種別	選択
単位数	3	教科書	高校生のための『愛媛県史』学習資料集				
副教材	詳説 日本史図録 第9版（山川出版社）						
授業形態	講義、グループ学習、発表など						
科目の 目標	我が国の歴史の展開を、世界史的視野に立って総合的に考察し、我が国の文化と伝統の特色についての認識を深めることによって、歴史的思考力を培い国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人の資質を養う。						
身に付けて ほしい学力	1 我が国の歴史に興味を持ち、基本的な知識を習得する。 2 我が国の文化と伝統の特色について認識を深めることで、歴史的思考力を培う。						
学習計画	単元			学習のあらまし			
	【1学期】 1 明治維新と近代国家の形成 2 立憲国家の成立 【2学期】 1 近代日本とアジア 2 国際情勢の転換と日本 3 世界の動乱と日本 4 占領統治と日本の独立 【3学期】 1 高度経済成長と日本			・明治新政府の政策に着目して、明治初期の政治的変革と国家的統一過程を考察する。 ・立憲国家の成立に至る間、近代国家の基盤が形成されていく過程を考察する。 ・日本の国際的地位の変化と植民地支配の推進を諸外国の動向と関連付けて考察する。 ・日本の経済情勢や対外政策の推移について、世界情勢や軍部の政治的進出に着目して、政党内閣の崩壊や国際的孤立の過程について考察する。 ・戦後の世界秩序を踏まえ、日本の諸改革について、その経過と内容を考察する。 ・冷戦期の国内状況について、多面的・多角的に捉える。			
評価の 観点・ 評価方法	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解			
	歴史に興味や関心を持ち、自ら課題を発見し、話し合いの場面で、仲間の意見に耳を傾けながら、自らの意見を積極的に発表しようとする。	歴史的事象を多面的、多角的に捉え、他の事象との比較や検討をし、関連を考察し、公正に判断してノートや学習プリントなどに記述できる。	必要に応じて多様な情報を活用し、有用な資料を選択・収集ができ、資料の特性を踏まえて、的確に情報を読み取ったり、活用したりすることができる。	歴史的事象を捉える基本的事項に関する知識を十分に持ち、歴史的事象や各時代の特色について理解し、説明することができる。			
	定期考査並びに小テスト及び授業態度、提出物等に基づいて、「関心・意欲・態度」「思考・判断・表現」「資料活用の技能」「知識・理解」の4観点から総合的に評価する。						
学習の アドバイス	1 授業に休まず出席し、活動をする場面では、積極的に参加する。 2 歴史に興味を持ち、基本的な歴史事項を理解し、定着させようとする。 3 問題演習に積極的に取り組み、幅広い知識を身に付ける。						
その他	特になし						

教科	公民	科目	政治・経済	講座	3年Ⅱ型	種別	必修
単位数	2	教科書	高等学校 新政治・経済 新訂版				
副教材	なし						
授業形態	講義、グループ活動 等						
科目の目標	現代の政治・経済に興味・関心を持ち、様々な出来事に対して問題意識を持って思考するとともに、自ら現代社会が抱える課題を発見、解決するために必要な技能や表現力を身に付ける。						
身に付けてほしい学力	1 現代社会の政治的・経済的事象に対して、興味関心を持ち、主体的に取り組む姿勢を養う。 2 科学的な視野に立って思考、分析、判断、表現できる力を身に付ける。						
学習計画	単元			学習のあらまし			
	【1学期】 1 民主政治の基本原理 2 日本国憲法と基本的人権 3 日本の平和主義と安全保障 4 日本の政治機構 5 現代日本の政治 6 国際政治と日本 【2学期】 1 現代経済の特質 2 現代日本の経済 3 国際経済と日本 【3学期】 1 現代日本の諸課題 2 国際社会の諸課題			・人にとっての政治の意義と意味や民主的な社会における国民の権利・義務関係について、考察する。 ・日本国憲法の内容や意義を理解しながら、現代に生きる私たちの在り方・生き方を考察する。 ・現代日本における経済のしくみを理解しながら、経済の果たす役割について考察する。 ・世界のなかにおける日本の経済的な位置づけはどのように変化してきたか、考察する。 ・現代の世界や日本が抱える諸課題を理解しながら、その解決方法を考察する。			
	評価の観点・評価方法	関心・意欲・態度 授業に意欲的に参加し、学習内容に対して科学的な視点をもって関心を持つことができる。	思考・判断・表現 学習内容に対して科学的に思考、判断、分析し、その成果を表現できる。	資料活用の技能 必要に応じて、資料を活用して、課題を解決できる。 提示された資料から様々な情報を読み取る。	知識・理解 科学的視点に立って、習得した知識を活用して、提示された課題や自ら発見した課題を解決することができる。		
	・授業中の態度、発言、提出物、課題への取り組み方と定期考査により、総合的に評価を行う。						
学習のアドバイス	・しっかりと教科書、資料集をよく読み、重要だと思った事項にマーカーで目印を付ける。 ・教科書をベースに自らノートを作成し、板書事項や自分が調べたことを書き加えて、自分だけのノートづくりに取り組む。 ・提示された課題に対する分析結果や意見を論理的に自らの言葉で表現する小論文に取り組む。						
その他	特になし						

教科	数学	科目	数学Ⅲ	講座	3年Ⅱ型	種別	選択
単位数	6	教科書	改定版 新編 数学Ⅲ（数研出版）				
副教材	改定版 教科書傍用 クリアー 数学Ⅲ						
授業形態	講義、演習						
科目の目標	平面上の曲線と複素数平面、極限、微分法及び積分法についての理解を深め、知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を育てる。						
身に付けてほしい学力	1 複素数平面や関数の極限、微分法・積分法について理解し、活用できるようになる。 2 課題に対して、既修の知識を基に適切に処理し、数学的に表現できるようになる。						
学習計画	単元			学習のあらまし			
	【1学期】 第1章 複素数平面 第2章 式と曲線 第3章 関数 第4章 極限 【2学期】 第5章 微分法 第6章 微分法の実用 第7章 積分法とその応用 第1節 不定積分 第2節 定積分 【3学期】 第3節 積分法の実用			・複素数平面や2次曲線、媒介変数表示、極座標などについて学習する。 ・分数関数、無理関数、逆関数、合成関数について学習する。 ・数列、関数の極限について学習する。 ・いろいろな関数の導関数やその応用について学習する。 ・積分の基本性質や置換積分法、部分積分法について学習する。 ・面積、体積、道のり、曲線の長さについて学習する。			
評価の観点・評価方法	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方		数学的な技能		知識・理解	
	平面上の曲線と複素数平面、極限、微分法及び積分法に関心を持つとともに、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、平面上の曲線と複素数平面、極限、微分法及び積分法における数学的な見方や考え方を身に付けている。		平面上の曲線と複素数平面、極限、微分法及び積分法において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技術を身に付けている。		平面上の曲線と複素数平面、極限、微分法及び積分法における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。	
	上記の観点を踏まえ、①定期考査 ②実技試験 ③提出物 ④授業態度 を総合的に判断して評価する。						
学習のアドバイス	1 休まずに授業に出席する。 2 必ず復習を行い、課題を提出する。 3 基本問題を何度も演習し、学習内容の定着を図る。 4 学期末にノート提出があるので、日頃からノートの整理をしっかりと行うこと。						
その他	特になし						

教科	数学	科目	数学探究 A	講座	3 年Ⅱ型	種別	選択
単位数	2	教科書	自作教材（愛媛県立弓削高等学校）				
副教材	数学Ⅰ・A・Ⅱ・B 基礎徹底演習（ラーンズ）						
授業形態	講義、演習						
科目の目標	数と式、2 次関数、図形と計量、データの分析、場合の数と確率、図形の性質、整数の性質に関する基本的な概念や原理・法則などについて系統的な理解を深める。さらに、いろいろな事象を数学的に考察し処理する過程において、探究的な態度を身に付け、創造的な能力を高めるとともに、将来の生きる力につながる数学力を養う。						
身に付けてほしい学力	1 基本的な計算力を身に付け、複雑な式を変形し考察できるようになる。 2 論拠を明らかにしながら、適切に解を導くことができるようになる。						
学習計画	単元			学習のあらまし			
	【1 学期】 数と式 2 次関数 図形と計量 【2 学期】 データの分析 場合の数と確率 図形の性質 【3 学期】 整数の性質			・問題演習を通し、数学Ⅰ・Aの内容を復習する。 ・模試や試験の難易度や時間配分等に慣れるため、実践的な問題を解く。			
評価の観点・評価方法	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解			
	数学的活動を通して、数と式、2 次関数、図形と計量、データの分析、場合の数と確率、図形の性質、整数の性質における数学的な見方や考え方の良さを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。	事象を数学的に捉え、論理的に考えるとともに、思考の過程を振り返り、多面的、発展的に考えることができる。	表現し処理する仕方や推論の方法を身に付け、よりよく問題を解決することができる。	基本的な概念、原理や法則、用語や記号等を理解し、基礎的な知識を身に付けている。			
	上記の観点を踏まえ、①定期考査 ②平常点（提出物、授業態度等）を総合的に判断して評価する。						
学習のアドバイス	1 毎回出る課題をよく考え、全て取り組んでください。 2 わからない問題もそのままにせず、調べながら解くなどしましょう。 3 よく復習を行ってください。 4 授業で分からなかったところは、必ず質問し、解消してください。						
その他	共通テストなどのマーク形式の模試・試験対策を主とする。						

教科	数学	科目	数学探究B	講座	3年Ⅱ型	種別	選択
単位数	2	教科書	自作教材（愛媛県立弓削高等学校）				
副教材	数学Ⅰ・A・Ⅱ・B基礎徹底演習（ラーズ）						
授業形態	講義、演習						
科目の目標	いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を育てる。						
身に付けてほしい学力	1 表現し、処理する仕方や推論の方法を身に付け、よりよく問題を解決することができる。 2 基本的な概念、原理や法則、用語や記号等を理解し、基礎的な知識を身に付けている。						
学習計画	単元			学習のあらまし			
	【1学期】 第1章 式と証明 第2章 複素数と方程式 第3章 図形と方程式 第4章 三角関数 第5章 指数関数と対数関数 【2学期】 第6章 微分法と積分法 第1章 平面上のベクトル 第2章 空間上のベクトル 第3章 数列 【3学期】 全体の復習			・高次式や恒等式に関する問題や複素数、軌跡、領域に関する問題などを解くことで、各単元の理解を深める。 ・三角関数に関する問題や指数・対数関数に関する問題を解くことで、様々な関数の理解を深める。 ・積分や面積に関する問題を解くことで、積分法についての理解を深める。 ・簡単な数列とその和及び漸化式と数学的帰納法について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。			
評価の観点・評価方法	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解			
	いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えにおける考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基いて判断しようとする。	いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えにおいて、事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。	いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えにおいて、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えにおける基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身に付けている。			
	上記の観点を踏まえ、①定期考査 ②実技試験 ③提出物 ④授業態度 を総合的に判断して評価する。						
学習のアドバイス	1 休まずに授業に出席する。 2 必ず復習を行い、課題を提出する。 3 基本問題を何度も演習し、学習内容の定着を図る。 4 学期末にノート提出があるので、日頃からノートの整理をしっかりと行うこと。						
その他	共通テストなどのマーク形式の模試・試験対策を主とする。						

教科	理科	科目	物理	講座	3年Ⅱ型	種別	選択
単位数	4	教科書	改訂版 物理（数研出版）				
副教材	物理基礎 物理実験ノート（愛媛県高等学校教育研究会理科部会） セミナー 物理基礎＋物理（第一学習社）						
授業形態	講義、観察・実験、発表 など						
科目の 目 標	物理的な事象・現象に対する探究心を高め、目的意識を持って観察、実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。						
身に付けて ほしい学力	1 観察実験を通して、物理学的に探究する能力と態度を身に付ける。 2 物理学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を身に付ける。						
学習計画	単元			学習のあらまし			
	【1学期】 第1編 様々な運動 第1章 平面内の運動と剛体のつり合い 第2章 運動量 第3章 円運動と単振動 第4章 万有引力 第5章 気体分子の運動 【2学期】 第2編 波 第1章 波の伝わり方 第2章 音 第3章 光 第3編 電気と磁気 第1章 電気と電流 第2章 電流と磁界 第4編 原子 第1章 電子と光 【3学期】 第2章 原子と原子核 第3章 物理学が開く未来			- 物体の衝突や分裂における運動量保存を学習する。 - ケプラーの法則を扱い、惑星の運動と人工衛星の運動を取り上げる。 - ホイヘンスの原理、反射・屈折及び屈折率を学習する。 - 光の回折や干渉について学習する。 - 電流が磁界から受ける力を学習する。 - コンデンサーやコイルのリアクタンスを扱う。 - X線の性質や利用を学習する。 - 原子核の崩壊や核反応について理解を深め、素粒子の存在について学習する。			
評価の 観点・ 評価方法	関心・意欲・態度	思考・判断	観察・実験の技法	知識・理解			
	自然の事物・現象に関心をもち、それらを探究しようとするともに、科学的態度を身に付けている。	自然の事物・現象の中に疑問を見だし、探究する過程を通して、事象を考察し、導き出した考えを表現している。	観察・実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理する技能を身に付けている。	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、基本的な知識を身に付けている。			
	①グループ討議（グループに分かれて討議し、その結果を代表者が簡単に発表して評価）、②授業中の発問や認識調査（ランダムな指名の回答などで理解の程度を把握）③実験や探究活動（実験に対する意欲的、積極的な姿勢、報告させるレポートなどで評価）、④定期考査で判断。						
学習の アドバイス	1 休まず授業に出席し、様々な実験を体験しましょう。 2 予習や復習、授業中に生じた疑問点については、積極的に質問しましょう。						
その他	大学入学共通テスト対策も含めた基本的な科学の内容を幅広く学習する。						

教科	理科	科目	理科探究 B	講座	3 年Ⅱ型	種別	選択
単位数	2	教科書	生物基礎 実験ノート・問題集（愛媛県高等学校教育研究会理科部会）				
副教材	なし						
授業形態	講義、観察・実験、発表 など						
科目の目標	科学的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に探究する能力と態度を育てるとともに、科学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。						
身に付けてほしい学力	1 基本的な観察・実験の方法。 2 身の回りの現象を筋道立ててとらえる活動を通して、科学的に探求する力。 3 自分の考えや抽象的なことを表現する力。また、それを他者にわかりやすく伝える力。						
学習計画	単元			学習のあらまし			
	生物・化学の実験や問題演習			- 身近な化学現象を関連づける。 - 実験活動の進め方を学習する。 - 実験上の注意点を学習する。 - 実験における基本操作を学習する。 - 実験結果・考察の発表の仕方を学習する。 - 化学に関する研究を行う。 - 生物に関する研究を行う。 - 問題演習を行う。			
評価の観点・評価方法	関心・意欲・態度	思考・判断	観察・実験の技法	知識・理解			
	自然の事物・現象に関心をもち、それらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。	自然の事物・現象の中に疑問を見だし、探究する過程を通して、事象を考察し、導き出した考えを表現している。	観察・実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理する技能を身に付けている。	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、基本的な知識を身に付けている。			
	上記の観点を踏まえ、①定期考査 ②実験発表 ③提出物 ④授業態度 を総合的に判断して評価する。						
学習のアドバイス	1 筋道を立てて考えることが大切です。また、継続して学習することが大切です。そのため、 欠 席したりせず、集中して授業に取り組みましょう。 2 薬品や火気を取り扱うこともあります。安全面には十分な注意をしましょう。						
その他	特になし						

教科	保健体育	科目	体育	講座	3年共通	種別	必修
単位数	2	教科書	最新高等保健体育改訂版（大修館）				
副教材	最新高等保健体育ノート（大修館）						
授業形態	実技、講義						
科目の目標	各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにするとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる能力・態度を育てる。						
身に付けてほしい学力	1 様々な競技に興味を持ち、他者と協力しながら積極的に取り組む態度を身に付ける。 2 各競技の技術を習得する。						
学習計画	単元			学習のあらまし			
	【1学期】 1 体づくり運動 2 球技（バレーボール） 3 体育理論			・集団行動を習得する。 ・バレーボールの基本技能を習得する。 ・各ライフステージのスポーツの楽しみ方、ライフスタイルに応じたスポーツの関わり方について学習する。			
	【2学期】 1 ダンス 2 球技（バスケットボール、サッカー） 3 体育理論			・運動会に向けて、ダンスを練習する。 ・バスケットボール、サッカーの基本技能を習得する。 ・スポーツ振興のための条件について学習する。			
	【3学期】 1 球技（バドミントン） 2 体育理論			・バドミントンの基本技能を習得する。 ・スポーツと環境と責任ある行動について学習する。			
評価の観点・評価方法	関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解			
	・運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう自ら進んで運動しようとする。 ・公正、協力、責任などの態度を身に付けるとともに、健康や安全に留意して運動をしようとしている。	・自己やグループの能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して、運動の仕方を考え、工夫している。	・自己の能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して運動を行うとともに、運動の技能を高めている。 ・自己の体力や生活に応じて体力を高めるための運動の合理的な行い方を身に付けている。	・生活における運動の意義や必要性及び運動の特性と合理的な行い方を理解し、知識を身に付けている。			
	上記の観点を踏まえ、①出席状況 ②実技試験 ③提出物 ④授業態度 を総合的に判断して評価する。出席状況、授業に対する関心や意欲、態度、また思考力や判断力、運動そのものの技能、そして知識や理解などを総合的に評価する。						
学習のアドバイス	1 休まず授業に出席し、様々な競技を体験する。 2 得意・不得意に関係なく、全力で取り組む。 3 自己だけでなく、他者の安全にも十分注意して学習する。						
その他	特になし						

教科	外国語	科目	コミュニケーション英語Ⅲ	講座	3年Ⅱ型	種別	必修
単位数	4	教科書	BIG DIPPER English Communication Ⅲ（数研出版）				
副教材	DUALSCOPE 総合英語（数研出版）、必携英単語 LEAP（数研出版）						
授業形態	講義、グループ学習、発表 など						
科目の目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を伸ばす。						
身に付けてほしい学力	1 「聞く」「読む」「話す」「書く」の4技能を高める。 2 社会生活で役に立つコミュニケーション能力を身に付ける。						
学習計画	単元			学習のあらまし			
	【1学期】 Lesson 1 The History of <i>Ekiben</i> Lesson 2 Three Tips for Maintaining a Conversation Lesson 3 Do You Judge People by Their Blood Types? Lesson 4 My Opinion of Zoos Lesson 5 The 55-Year Race Lesson 6 After the Flowers Lesson 7 Online Word-of-Mouth Lesson 8 <i>Kintsugi</i> 【2学期】 Lesson 9 Alfred Nobel : A Person of Peace Lesson 10 Art on Display Lesson 11 Keys to Winning Lesson 12 She Sells Seashells by the Seashore Lesson 13 A New Orchestra and a New Harmony Lesson 14 Swimwear for Speed Lesson 15 The Immortal Jellyfish Lesson 16 Antarctica by Cruise Ship 【3学期】 Lesson 17 The Shoe That Grows Lesson 18 Let's Try English Presentations! Lesson 19 Bottled Water? No Water? Lesson 20 Endangered Languages Lesson 21 Left in Space			・日本独自の食文化である駄弁について学ぶ。 ・追加・列挙の表現をおさえながら、会話を続ける3つのテクニックを学ぶ。 ・例示表現に着目し、なぜ人は血液型で人を判断するのかを学ぶ。 ・動物園の是非について、自分の意見を持つ。 ・55年かかったマラソンレースに対する感想を述べる。 ・タンポポ・オオバコ・スマレの生存戦略を学ぶ。 ・クチコミサイトから必要な情報を読み取る。 ・日本の伝統技術である金継ぎについて学ぶ。 ・ノーベルがノーベル賞をつくった背景を読み取る。 ・博物館案内から、必要な情報を読み取る。 ・実力を発揮する方法を学ぶ。 ・女性の社会貢献について話し合う。 ・新聞記事の読み方を学ぶ。 ・スポーツの在り方を考える。 ・不死の生物、ベニクラゲについて調べる。 ・南極旅行のパンフレットから必要な情報を読み取る。 ・アフリカの貧困・教育問題について考える。 ・英語のプレゼンテーションの基本を学ぶ。 ・世界の水問題について考える。 ・絶滅の危機に瀕している少数派言語について考える。 ・宇宙ゴミ除去へ向けて国際協力について考える。			
評価の観点・ 評価方法	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度		外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての 知識・理解		
	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。		英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。		
	上記の4つの観点から、定期考査の成績に加えて、予習・ノートの整理・プレゼン・スピーキングテスト・授業態度（自発的な発表、諸活動への参加態度、ペアワーク・グループワークへの積極的参加）を総合的に判断して評価する。						
学習の アドバイス	1 音読を通して、多くの英文を読み込もう。 2 実践的な問題を通して、語彙力・文法力を上げよう。 3 1、2を毎日継続しよう。						
その他	特になし						

教科	外国語	科目	英語表現Ⅱ	講座	3年Ⅱ型	種別	必修
単位数	2	教科書	VISION QUEST English Expression Ⅱ（啓林館）				
副教材	UPGRADE 英文法・語法問題（数研出版）						
授業形態	講義、グループ学習、発表 など						
科目の目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を更に伸ばし、社会生活において活用できるようにする。						
身に付けてほしい学力	1 主題を決め、様々な種類の文章を書く。 2 与えられた話題について、即興で話す。						
学習計画	単元			学習のあらまし			
	【1学期】 Part 2 パラグラフを書く Lesson 1 ロボットの有用性 Lesson 2 英語を学ぶ意義 Lesson 3 都会と田舎 Lesson 4 深刻な黄砂問題 Lesson 5 ベジタリアン 【2学期】 Part 3 英語で発信する Lesson 1 プレゼンテーション (1) ブレインストーミング/資料を探す/アウトラインの作成 (2) プレゼンテーションの原稿/表現 (3) プレゼンテーションの準備/実施 (4) プレゼンテーションの質疑応答/発表者の評価 Lesson 2 ディスカッション (1) ディスカッションの進め方/例 (2) ディスカッションに役立つ表現/評価 【3学期】 Lesson 3 ディベート (1) ディベートの進め方 (2) ディベートの準備 (3) ディベートを行う上での注意点/判定/表現			・列挙・順序の言葉を用いてパラグラフを書く。 ・例示・追加の言葉を用いてパラグラフを書く。 ・対比・類似の言葉を用いてパラグラフを書く。 ・原因・理由の言葉を用いてパラグラフを書く。 ・文の要点をつかみ要約文を書く。 ・資料から得た情報を基に、プレゼンテーションを行うための原稿を書く。 ・原稿を基に、発声の仕方に気をつけて発表する。 ・ジェスチャー等を用いて、発表する。 ・発表の内容について疑問に思ったことを質問し、また、その質問に適切に答える。 ・他人の意見をメモ書きする。 ・特定のテーマについてグループで意見を述べ、それに対する質問をする。 ・特定のテーマについて、自分の意見を書く。 ・予想される反論を考え、それに対する回答を考える。 ・相手の発言を理解し、適切に回答する。また、自分のグループの意見をまとめる。			
評価の観点・評価方法	コミュニケーションへの関心・意欲・態度		外国語表現の能力	外国語理解の能力		言語や文化についての知識・理解	
	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。		事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら英語で伝えている。	英語を聞き取り、情報や考えなどを的確に理解している。		英語やその運用についての知識を身に付けるとともに、言語の背景にある文化などを理解している。	
	上記の4つの観点から、定期考査の成績に加えて、予習・ノートの整理・授業態度（自発的な発表、諸活動への参加態度、ペアワーク・グループワークへの積極的参加）を総合的に判断して評価する。						
学習のアドバイス	1 自分の意見を英語で表現するための、語彙力や文法力を身に付けよう。 2 日常生活で、日本語を英語に変換する訓練を繰り返そう。						
その他	特になし						